

県高校駅伝

男子第五十九回、女子第二十一回兵庫県高校駅伝競走大会(神戸新聞社後援)は十四日、篠山市の大正ロマン館前をスタート、篠山鳳鳴高グラウンドをゴールとする篠山高校駅伝コースで行われ、男子は西脇工が通算単独最多となる八年連続十六度目、女子は須磨学園が十一年連続十一度目の優勝を飾った。

(22、23面に関連記事)
7区間、42・195分
で争った男子は西脇工が

男子 西脇工V8、女子 須磨学園V11

前半の1-3区でリードを奪い、2位の報徳に49秒差をつける2時間6分29秒で快勝した。

5区間、21・0975分を記録した女子は、1区から独走態勢を築いた須磨学園が全区間賞を独占し、1時間8分37秒の大会新記録で優勝した。

男女の優勝校は全国高校駅伝(12月26日・京都府)に出場する。

大会新記録の1時間8分37秒で11年連続の優勝テープを切る女子・須磨学園のアンカー、早瀬恵子(篠山中大飛、篠山鳳鳴高)撮影・田中靖浩



兵庫県高等学校駅伝競走大

